



(左から) 田村代表理事、石田会長、木村副町長、立石会長

2月14日

### 能登半島地震の被災者支援 町内林業関係者が義援金

能登半島地震の被災者を支援しようと、白糠木材協会（石田正義会長）など町内の林業関係者から日本赤十字社に義援金15万円が贈られました。

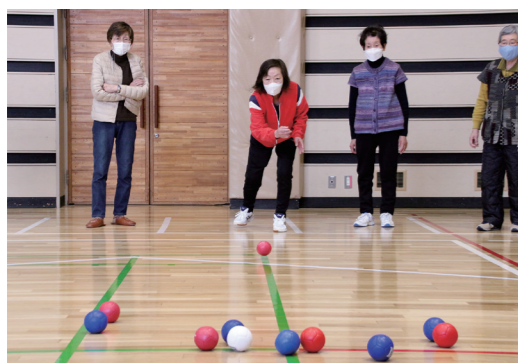
この日、石田会長と白糠木材工業協同組合の田村博政代表理事、白糠林産業研究会の立石巧会長が役場を訪れ、木村政勝副町長に義援金を手渡しました。義援金として12社と3団体から各1万円が集められました。

2月14日

### 誰でもできる「ポッチャ」に親しむ エンジョイスports教室開催

町教委主催の「エンジョイスports教室」が西庶路コミュニティセンターで開かれ、町民30人が「ポッチャ」に親しみました。

参加者は真剣な表情でボールを投げ、白い目標球の近くにボールが止まると、「わー」といった歓声が上がっていました。初めてポッチャを体験した藤生郁江さんは「とてもおもしろかったです。いい運動になりました」と笑顔を見せていました。



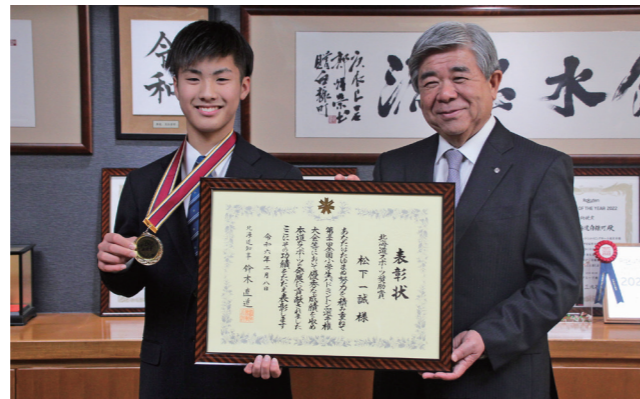
ポッチャは、3人1組で赤と青のチームに分かれて、1人2球ずつボールを投げたり、転がしたりして、白い目標球（ジャックビール）に、より近づけるかを競うヨーロッパ発祥のニュースポーツです。

2月8日

### バドミントンで全国優勝の松下一誠さん 北海道スポーツ奨励賞表彰

令和5年度北海道スポーツ奨励賞に白糠学園7年生の松下一誠さんが選ばれました。

松下さんは2021年、22年のバドミントン全国大会で優勝するなどの好成績を収めました。同賞の受賞は釧路管内で初の快挙です。役場で行われた伝達式では、松下さんが棚野孝夫町長から表彰状とメダルを受け、「また全国優勝目指して頑張ります」と話していました。



表彰状とメダルに笑顔の松下さん(左)と棚野町長

2月2日

### 練習の成果を十分に発揮 白糠学園スケート記録会

毎年恒例の白糠学園スケート記録会が開催され、1～6年生の児童が好タイムを目指して滑走しました。

記録会では、100m走や200m走などで自己ベストを目指して力走。ときにはつまづいたり、転んだりしながらも精一杯走る児童の姿に、保護者から熱い声援が送られていました。記録会后、氷上ゲームが行われ、児童たちはソリに乗った「人間カーリング」や、ボール早く広い集めるゲームなどで楽しんでいました。



2月4日

### 絵本は自分の心の写し鏡 おとなのための絵本セラピー

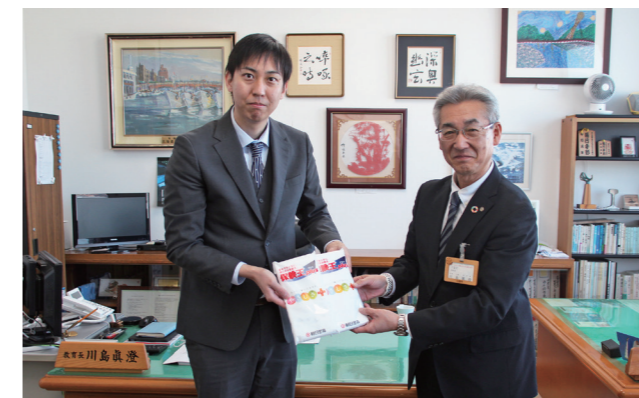
家庭教育カフェ「おとなのための絵本セラピー」が公民館で開かれ、町民14人が参加しました。

講師は、絵本セラピストの天津洋子さん。参加者は4～5人のグループに分かれ、天津さんが読んだ絵本から感じたことを共有しながら、交流を深めました。

河田由美子さんは「絵本から新たな気づきが得られました。参加して良かったです」と話していました。



「一冊の絵本でも受けとめ方はみんな違う」と話す天津さん



タオルを手に加藤所長と(左)と川島教育長

2月6日

### いろいろな場面で活用してほしい 朝日生命がタオル寄贈

朝日生命労働組合釧路支部が、社会貢献活動の一環として町立学校に未使用タオル160本を寄贈しました。

同支部では、1997年から毎年、組合員から未使用タオルを募り、各市町村に寄贈しています。

この日、加藤由太白糠営業所長が役場を訪れ、川島眞澄教育長にタオルを手渡しました。川島教育長は「使い道が多いので助かります」と感謝していました。